



2007年6月
株式会社ヒューマントラスト

母となって復帰後 初の国内マラソンレースに出場
6月17日(日) はまなす全国車いすマラソン大会(札幌市)
車椅子アスリート つちだわ か こ 土田和歌子 選手

復帰初戦のボストンマラソンで優勝、初のトラックレースでは日本記録を更新

総合人材サービス企業の株式会社ヒューマントラスト(本社:東京都千代田区、代表取締役 阪本美貴子)の所属で、アテネパラリンピック金メダリストである土田和歌子選手は、結婚・出産による約1年間のブランクを経て、本年4月16日 米国のボストンマラソンに出場し、車いすの部において見事、日本人女性 初優勝の快挙を遂げました。

また、復帰後初のトラックレースとして臨んだ、「第18回 日本身体障害者陸上競技選手権大会」(5/27 大阪府堺市金岡公園陸上競技場)では、5000mと1500mに出場し、5000mでパラリンピック北京大会の選考対象となる標準記録(14分00秒)を突破し、1500mでは優勝選手とともに日本新記録を樹立、世界陸上*に推薦されることが決定しました。

*2007世界陸上大阪大会 男女車いす1500m決勝(9/1(土)開催予定)

そして、来る6月17日(日)、復帰後初の国内マラソンレースとして、「2007はまなす全国車いすマラソン大会」のフルマラソンの部に出場します。札幌市・真駒内屋外競技場をスタートし市内中心部を抜けて折り返す周回コースで、高低差の厳しいコース設定ですが、ボストンマラソンでの好成績に続き、今大会でも好記録達成を目指し、意気込みにあふれています。

土田選手は2004年アテネパラリンピックにおいて、5000mで金メダルを、フルマラソンで銀メダルを獲得しています。06年1月から結婚出産のために一旦、競技生活から離れていましたが、産後3カ月でトレーニングを開始し、北京パラリンピックで5000mとフルマラソンの2種目を制覇する夢に向かい、挑戦を続けています。

【土田和歌子選手 コメント】

「復帰後、国内初のフルマラソンになりますが、まずは北京パラリンピックの標準記録(2時間10分)を突破して、2003年に記録した今大会でのベストタイム(1時間42分23秒)に近づけるように頑張ります！」

【 2007 はまなす全国車いすマラソン大会 について 】

主 催 : 北海道障害者スポーツ振興協会

大会スケジュール :

2007 年 6 月 16 日 (土) 18:00~18:30 開会式 18:30~20:00 激励会
会場 : アパホテル&リゾート札幌 [札幌市南区川沿 4 条 2 丁目]

6 月 17 日 (日) 9:30 スタート 13:00 閉会式
会場 : 真駒内屋外競技場 [札幌市南区真駒内公園 3 番 1 号]

土田選手 参加種目 : フルマラソン(42.195 km)

当大会における土田選手の実績

1998 年	第 1 位	1 時間 57 分 07 秒
1999 年	第 2 位	1 時間 50 分 47 秒
2003 年	第 1 位	1 時間 42 分 23 秒

【土田和歌子プロフィール】

1974 年 10 月 15 日 東京都生まれ

高校 2 年の時、友人とドライブ中に事故に遭い、車いす生活に。

1993 年アイススレッジの講習会に参加したことがきっかけで、日本で最初にアイススレッジスピードスケート始める。

長野パラリンピックでは 1500メートルで自身の世界新記録を更新し金メダルを獲得。1000メートルでも金メダル、100メートル、500メートルでは銀メダルを獲得した。

一方、陸上競技にも挑戦し 2000 年シドニーパラリンピック車いすマラソンで銅メダルを獲得。2004 年アテネパラリンピックでは、5000mで念願の金メダル、フルマラソンでは銀メダルを獲得。日本人初の夏冬「金メダリスト」となった。

東京都教育庁、セイコ・ハシモトインターナショナルコーポレーション(S.H.I)所属を経て現職。2004 年アテネパラリンピックであと一步のところまで達成出来なかった、5000mとマラソン 2 種目での金メダル獲得を目指し、2008 年の北京へ向け始動。

出産後、復帰第一戦のボストンマラソンで日本人女性として初優勝を達成。

復帰後初のトラックレースにおいても、5000m でパラリンピック北京大会の選考対象となる標準記録(14 分 00 秒)を突破し、1500mでは日本記録を更新しました。



株式会社ヒューマンラストについて

1995年2月の設立以来、人材派遣、人材紹介、アウトソーシング、人事コンサルティングと順次事業を拡大、売り上げも順調に推移し、現在全国23拠点(2007年3月現在)でサービスを展開しています。

従来、総合人材サービス企業として多様なニーズに合わせた人材活用を提案してまいりましたが、障害者の雇用促進を目的に、2007年4月、ヒューマンラストフロンティアを設立しました。土田選手は、同社の設立準備段階である2006年11月にヒューマンラストに入社し、まず当面は北京パラリンピックに向けた練習を活動の中心としています。そしてパラリンピック以降、本格的に障害者雇用促進プロジェクトの推進役として、自身の経験を活かしながら、「夢」、「家庭」、「就労」を両立させるような仕組みづくり、環境づくりに参画する予定です。

報道関係の方からのお問い合わせ先

株式会社ヒューマンラスト 広報室 TEL : 03-3517-0740